



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場会社名 大同工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6373 URL <http://www.did-daido.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新家 康三

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 平野 信一

TEL 0761-72-1234

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	19,078	0.1	433	△34.9	481	△15.9	249	△1.7
23年3月期第2四半期	19,052	21.6	665	—	573	—	253	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △795百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △417百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	5.30	—
23年3月期第2四半期	5.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	47,270	16,831	26.8	269.62
23年3月期	48,443	17,768	28.4	292.43

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 12,691百万円 23年3月期 13,765百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,000	2.8	1,150	△19.8	950	△31.6	400	△52.8	8.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	47,171,006 株	23年3月期	47,171,006 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	97,968 株	23年3月期	97,629 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	47,073,261 株	23年3月期2Q	47,074,764 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料]3ページ1.(3)連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、海外においては、中国やインド等新興国での経済成長が引き続き見られるものの、ギリシャ財政危機に端を発する欧州の債務問題や米国の景気停滞懸念により、先行き不透明な状況で推移しました。国内においては、東日本大震災及び原発事故に伴う電力不足による影響により経済活動が大きく停滞し、また、急速な円高の進行や株安等により厳しい状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、海外拠点の設備の増強に加え、インドにおいて新たに生産工場建設計画を進めるなど、グローバル事業体制の更なる構築と拡販活動を積極的に推進すると共に、生産性の向上、製造費用等の低減に努めてまいりましたが、震災により主要顧客である国内二輪車・四輪車メーカー向けの売上の減少に加え、為替の円高基調や原材料価格の高騰等の影響を受けた結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は19,078百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益は433百万円（前年同期比34.9%減）、経常利益は481百万円（前年同期比15.9%減）、四半期純利益は249百万円（前年同期比1.7%減）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

①日本

二輪車用チェーン、四輪車用チェーンについては、第2四半期以降、震災に伴う完成車メーカーの減産により落込んでいた受注が順調に回復してきているものの、前半の受注減少の影響が大きく、厳しい状況で推移しました。産業機械用チェーン及びコンベヤ関連についても、一部製鉄関連設備の海外向け等の受注が好調であったものの、依然国内においての設備投資需要が低調に推移していることから、厳しい受注状況で推移しました。

その結果、売上高は前年同期比4.9%減少の11,705百万円となりました。

②アジア

四輪車用チェーンについては、中国では震災の影響による日系完成車メーカーの減産により受注は減少したものの、タイにおいて新機種エンジン用チェーンの量産納入を開始したこと等により順調に推移しました。また、二輪車用チェーンについても、補修市場向けにおいてアセアン諸国の旺盛な需要に支えられタイを中心に好調に推移しました。中国におけるコンベヤ関連については、大型案件の受注が乏しく、前年同期を下回りました。

その結果、売上高は前年同期比10.0%増加の3,721百万円となりました。

③北米

二輪車用チェーン及びリムについては、完成車メーカー向けは、生産の回復基調により前年同期を若干上回りました。補修市場向けは、依然として低調に推移しましたが、新たに二輪車用ホイールの製造販売会社を子会社化したことで前年同期を若干上回りました。産業機械用チェーンについては、北米向けなど、一部市場に回復の兆しが見られてきており、前年同期を若干上回りました。

その結果、売上高は前年同期比4.9%増加の997百万円となりました。

④南米

二輪車用チェーンについては、完成車メーカーの増産による受注増加により、順調に推移し、産業機械用チェーンについては、ほぼ前年同期並の受注状況で推移しました。

その結果、売上高は前年同期比13.4%増加の2,045百万円となりました。

⑤欧州

二輪車用チェーン及びリムについて、欧州系の完成車メーカーの販売状況が好調に推移したことから、前年同期を若干上回りました。補修市場向けについては、為替の円高影響もあり、前年同期を下回りました。

その結果、売上高は前年同期比0.9%増加の608百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比べ、棚卸資産が369百万円増加、繰延税金資産が428百万円増加したものの、投資有価証券が1,875百万円減少したことなどにより1,173百万円減少し、47,270百万円となりました。負債につきましては、前連結会計年度末と比べ、支払手形及び買掛金が640百万円増加、賞与引当金が143百万円増加したものの、借入金（短期借入金・長期借入金）が400百万円減少、繰延税金負債が348百万円減少、退職給付引当金が267百万円減少したことなどにより237百万円減少し、30,438百万円となりました。純資産につきましては、前連結会計年度末と比べ、その他有価証券評価差額金が1,142百万円減少したことなどにより936百万円減少し、16,831百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況の概況は次のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ608百万円減少し、当第2四半期連結累計期間末には3,612百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1,327百万円（前年同期は626百万円の獲得）となりました。これは主に、退職給付引当金が267百万円減少（前年同期は362百万円減少）、たな卸資産が369百万円増加（前年同期は147百万円増加）したものの、減価償却費を1,051百万円（前年同期は1,094百万円）計上し、仕入債務が710百万円増加（前年同期は185百万円の増加）したこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は1,095百万円（前年同期は496百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,279百万円（前年同期は420百万円の支出）、有形固定資産の売却による収入388百万円（前年同期は5百万円の収入）等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は801百万円（前年同期は586百万円の使用）となりました。これは主に、借入の返済による支出（純減額）が400百万円（前年同期は228百万円の支出）、配当金の支払額141百万円（前年同期は141百万円の支出）等によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結ならびに個別業績予想につきましては、平成23年6月20日発表の数値を修正をいたしました。

詳細につきましては、本日（平成23年11月11日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,822	4,325
受取手形及び売掛金	8,403	8,579
商品及び製品	2,745	2,752
仕掛品	2,212	2,444
原材料及び貯蔵品	2,235	2,366
繰延税金資産	322	328
その他	493	517
貸倒引当金	△93	△91
流動資産合計	21,142	21,222
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,322	5,207
機械装置及び運搬具（純額）	4,926	4,523
土地	2,773	2,825
建設仮勘定	384	712
その他（純額）	2,115	2,268
有形固定資産合計	15,522	15,537
無形固定資産		
のれん	33	156
ソフトウェア	83	75
その他	16	15
無形固定資産合計	134	247
投資その他の資産		
投資有価証券	10,937	9,062
繰延税金資産	142	565
その他	566	636
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	11,645	10,263
固定資産合計	27,301	26,047
資産合計	48,443	47,270

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,187	4,827
短期借入金	6,843	6,846
1年内償還予定の社債	—	1,800
未払法人税等	60	95
賞与引当金	325	469
役員賞与引当金	13	—
製品保証引当金	162	124
その他	2,205	2,201
流動負債合計	13,798	16,364
固定負債		
社債	4,500	2,700
長期借入金	6,753	6,349
繰延税金負債	437	88
退職給付引当金	4,098	3,831
その他	1,087	1,103
固定負債合計	16,876	14,073
負債合計	30,675	30,438
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,726	2,726
資本剰余金	2,060	2,060
利益剰余金	6,248	6,356
自己株式	△17	△17
株主資本合計	11,017	11,125
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,528	2,385
為替換算調整勘定	△779	△818
その他の包括利益累計額合計	2,748	1,566
少数株主持分	4,002	4,140
純資産合計	17,768	16,831
負債純資産合計	48,443	47,270

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	19,052	19,078
売上原価	15,686	15,750
売上総利益	3,365	3,327
販売費及び一般管理費	2,699	2,894
営業利益	665	433
営業外収益		
受取利息	16	18
受取配当金	79	98
為替差益	—	28
持分法による投資利益	83	50
その他	112	142
営業外収益合計	290	338
営業外費用		
支払利息	235	246
為替差損	108	—
その他	39	43
営業外費用合計	383	290
経常利益	573	481
特別利益		
固定資産売却益	1	0
貸倒引当金戻入額	0	—
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産売却損	8	0
固定資産除却損	3	3
投資有価証券評価損	18	—
特別損失合計	30	3
税金等調整前四半期純利益	544	478
法人税、住民税及び事業税	57	91
法人税等調整額	109	△10
法人税等合計	167	81
少数株主損益調整前四半期純利益	377	397
少数株主利益	123	147
四半期純利益	253	249

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	377	397
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△581	△1,137
為替換算調整勘定	△209	△50
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	△5
その他の包括利益合計	△794	△1,193
四半期包括利益	△417	△795
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△477	△932
少数株主に係る四半期包括利益	60	136

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	544	478
減価償却費	1,094	1,051
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△362	△267
受取利息及び受取配当金	△95	△116
支払利息	235	246
有形固定資産売却損益(△は益)	7	△0
売上債権の増減額(△は増加)	△285	△176
たな卸資産の増減額(△は増加)	△147	△369
仕入債務の増減額(△は減少)	185	710
その他	△468	△82
小計	708	1,474
利息及び配当金の受取額	107	129
利息の支払額	△243	△246
法人税等の還付額	98	22
法人税等の支払額	△43	△53
営業活動によるキャッシュ・フロー	626	1,327
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	—	30
有形固定資産の取得による支出	△420	△1,279
有形固定資産の売却による収入	5	388
定期預金の預入による支出	△463	△111
その他	382	△124
投資活動によるキャッシュ・フロー	△496	△1,095
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△890	116
長期借入れによる収入	1,657	—
長期借入金の返済による支出	△995	△517
配当金の支払額	△141	△141
少数株主への配当金の支払額	△71	△89
その他	△144	△169
財務活動によるキャッシュ・フロー	△586	△801
現金及び現金同等物に係る換算差額	123	△38
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△332	△608
現金及び現金同等物の期首残高	4,623	4,220
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,290	3,612

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米	南米	欧州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	12,312	3,382	951	1,803	602	19,052	—	19,052
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,014	216	0	—	—	2,231	(2,231)	—
計	14,327	3,599	951	1,803	602	21,283	(2,231)	19,052
セグメント利益	245	380	49	60	62	799	(133)	665

(注) 1. セグメント利益の調整額△133百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米	南米	欧州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	11,705	3,721	997	2,045	608	19,078	—	19,078
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,258	226	2	—	0	2,487	(2,487)	—
計	13,964	3,948	999	2,045	608	21,565	(2,487)	19,078
セグメント利益	38	283	36	119	38	516	(82)	433

(注) 1. セグメント利益の調整額△82百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。